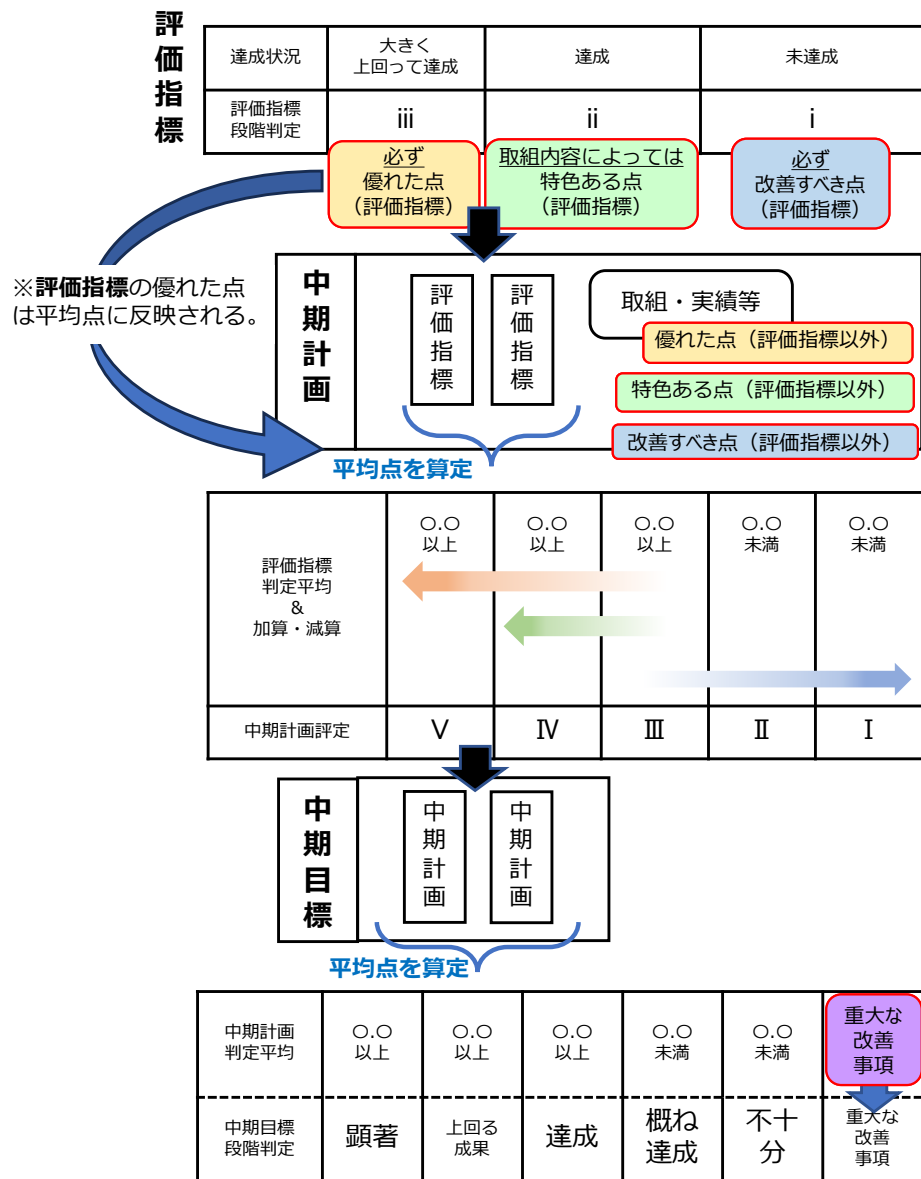


# 第4期の達成状況評価における段階判定イメージ

- 中期計画の段階判定では、評価指標の判定平均に、優れた点、特色ある点及び改善を要する点を勘案（加算・減算）して総合的に判断。なお、意欲的な評価指標については、点数化の際に高く評価。
- 中期目標の段階判定では、中期計画の判定平均を基に判断（積み上げ方式）。



<参考：第4期教育研究評価における特記事項>

【優れた点】

- 優れた成果を出した取組であると判断されるものや、取組の結果、教育研究の質の向上が第3期中期目標期間終了時点から比べて目覚ましい状況にあると判断されるもの等、基本的には高い評価結果の判断根拠となるものが考えられます。

【特色ある点】

- 各国立大学法人等の多様な役割に配慮し、それぞれの個性を踏まえたユニークな取組であると判断されるものや、結果的に十分な成果は出ていなくても、先進的な取組や戦略性が高い目標・計画に係る取組であると判断されるものが考えられます。

【改善を要する点 (改善すべき点)】

- 取組の状況等からみて工夫や努力等により改善が図られると判断できる場合等、基本的には低い評価結果の判断根拠となるものが考えられます。

優れた点 (評価指標以外)

特色ある点 (評価指標) + 特色ある点 (評価指標以外)

改善すべき点 (評価指標以外)